



平成 21 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 富士フイルムホールディングス株式会社
代 表 者 の
役 職 氏 名 代表取締役社長 古 森 重 隆
(コード番号: 4901 東証第一部・大証第一部・名証第一部)
問 合 せ 先
責 任 者 経営企画部 IR 室長 吉 沢 勝
電 話 番 号 03 (6271) 1111

インフルエンザ治療薬「T-705」臨床第Ⅲ相試験開始のお知らせ

当社の子会社である富山化学工業株式会社（以下、富山化学）が、インフルエンザ治療薬「T-705」の臨床第Ⅲ相試験を開始しましたので、お知らせいたします。

「T-705」は、富山化学が創製した新規メカニズムのウイルス由来 RNA ポリメラーゼ阻害剤で、H5N1 型鳥インフルエンザを含むインフルエンザ治療薬として開発を進めております。国内では季節性インフルエンザ患者での臨床第Ⅱ相試験（2008 年 1 月より開始）において、ヒトでも薬効を示すことをはじめて確認し、また、現在世界各国で流行する豚由来の新型インフルエンザ（A/H1N1 型）にも国内で実施した動物試験で効果が確認されました。

現在、インフルエンザ治療に多く用いられるノイラミニダーゼ阻害剤の一部では耐性の発現が懸念されており、作用メカニズムの異なる「T-705」の開発は、治療上、新しい選択肢の提供につながる極めて有用なものと考えております。

「T-705」の開発については、国内外の規制当局や専門家との協議を重ねながら、様々な状況に対処できるように進めていきます。また、インフルエンザの感染拡大が社会的な問題となる中、企業の責任において迅速に生産に入れるよう準備を進めていきます。

富士フイルムグループは、先進独自の技術で人々のクオリティ・オブ・ライフ向上に貢献する事業活動をグループ力を結集して進めており、メディカルシステム・ライフサイエンス事業を重点事業の一つとして経営リソースを集中し、成長戦略を推進しています。その中で、富山化学は研究開発型企業として、「新薬の開発を通じて世界の医療の発展に貢献する」ことを目指していきます。

以 上